

## 復航Ⅱ

日本では、寒さも緩み冬に終わりを告げ春が始まった頃だと思いますが如何でしょうか？  
神海丸はホノルルを出港してから、順調な航海で、着実に目的地である神奈川県三崎港に向け進んでいるところです。

平成29年度第2次マグロ漁業実習もあと少しとなりました。神海丸での生活にすっかり馴染んだ生徒たちに①今日までの実習の感想、②ホノルルの思い出、③帰って一番最初にしたいこと、この3つの質問に答えて貰いましたので、謹んでご披露させていただきます^^



8号室の住民

大石君

- ①船に乗らないとできない体験がたくさんできたので、この体験を将来に生かしたい。
- ②ワイキキビーチで皆と楽しく泳いだこと。
- ③やっぱり、ゲームですかね。

勘場君

- ①日付変更線を越えて、もうすぐ日本に着くからとても嬉しい。
- ②いろいろな事があった。
- ③日本に着いたら、まず、身体を休めたいと思う。

熊谷君

- ①三崎まであと1週間のところまで来てるから、最後まで気を抜かずに頑張る。
- ②ガーリックポテトが旨かった。
- ③とりあえず身体を動かしたい。



9号室の住民

佐々木君

- ①船で教わった事は、下船しても忘れないようにしたいです。
- ②ワイキキで泳いだこと。
- ③家でゆっくりしたい。

古川君

- ①今までの航海は長いようで短く、とても勉強になった実習でした。残り僅かですが全力で頑張ります！！

②初めて、現地の人に話しかけた時。

③温かく広いベッドで静かにゆっくりと寝る。

水谷君

- ①とても疲れた。
- ②特に思い出はない。
- ③帰って〇〇〇に行きたいです。



10号室の住人

**山本君**

- ①操業が終わりハワイにも行きましたが少しずつですが、Mの方の仕事が何をやるのか分かってきました。
- ②町並みに驚きましたし、やはり英語で会話したことが一番心に残りました。
- ③日本に帰ったら温泉に行きたいです。

**渡邊君**

- ①最初はしんどいことばかりで辛かったけど、今となれば楽しい思い出です。
- ②沢山いろいろな物を買って物できたこと。
- ③スマホを弄りたいことと、地元の友達と野球がしたい。

**宇津君**

- ①いい体験になった。
- ②カメハメハ大王が良かった。
- ③揺れないベッドでゆっくり寝たい。



11号室の住人

**大屋君**

- ①素直に疲れました。
- ②初めての外国だったけど楽しかった。
- ③彼女に会いた〜い！！

**岡野君**

- ①操業が始まってからすごく早かった。
- ②人との交流が楽しかった。
- ③温泉に入りたい。

**洪田君**

- ①船でしかできないようなことがたくさんできたこと。
- ②日本と違った文化に触れられたこと。
- ③帰ったら家のご飯が食べたいです。



14号室の住人

**鐵田さん**

- ①集団生活、時間厳守、大変。
- ②ドールプランテーションとアラモアナショッピングセンター。
- ③焼き肉が食べたい。



12号室の住人

**福地君**

- ①短いようで長かった。
- ②アニメイトがなかった。
- ③PS4とアニメをおもっきりしたい。

**藤田君**

- ①船で生活して大きく成長する事が出来たと思います。いろいろな体験が出来たのも良かったです。
- ②牛角を食べに行ったのが一番の思い出です。
- ③船ではずっと動いてなかったので、思いっきり身体を動かしたいです。

**若菅君**

- ①大変だったけど何とか頑張ることができた。
- ②異国の文化に触れてみて日本との違いが解った。
- ③母さんの手料理が食べたい。

平成29年度第2次マグロ延縄漁業実習も残りわずかとなりました。日本に帰る日が近くなってそわそわするかなあと考えていましたが、生徒たちは意外にも冷静でクールに過ごしています。しかし、ホノルルを出港してから毎日学習があり、さすがに生徒たちも飽きてきたようです。今日まで8日間連続で船内授業があり、それも毎日同じ人間の授業なので、飽きるのも無理がないと思います。生徒たちには同情しますが、残念ながら明日も明後日も授業です^^



神海丸だより第4号で送付した生徒の写真です。今回の写真と比べてどうでしょうか？髪が伸びたり痩せたり太ったりといった外見の変化はもちろんありますが、内面もきっと変わっていることでしょう。神海丸で経験した様々な出来事乗り越えて大人に成長した姿を保護者の皆さんに見せられることと思います。



生徒たちにとってずっと未来のことだと思えた航海のエンドも射程内に入ってきました。よく言いますが、振り返ればあっという間でした。あっという間の65日ですが、この間に生徒たちが経験した全ての出来事が貴重な経験であり、お金で買うことができない財産と思い出となり、それぞれの心の奥深くに刻み込まれたことと思います。生徒たちは、神海丸乗組員の皆さん一人一人の顔とともに、この航海のことを一生忘れないでしょう。

本科生にとって1月10日に始まった航海も、あと数日を残すのみとなりました。来週末には浜田に到着しているので今回の神海丸だよりが最終号になります。1年生の時に担任として満足に学級通信を出せなかったこともあり「1週間に1回は神海丸だよりを作って送ろう」という目標を乗船時に立てました。私自身、時には怠け心に負けそうになりましたが、乗船説明会や出港時に岸壁から一生懸命に手を振って見送って下さった保護者の方々の姿を思い出し、パソコンに向かうことができました。

神海丸だよりがご子息・ご息女の船内での様子を知る手助けとなって活用されれば幸いに思います。

それでは3月15日、生徒たちはホノルルのお土産とたくさんの思い出、そして成長した姿？と日焼けした精悍な顔つきで浜田へ帰ります。楽しみにしててください。

